

## アジア政経学会 2010年度第2回評議員会 議事録

1. 日時 2010年10月23日(土) 12:30~14:00
2. 会場 東京大学駒場キャンパス 18号館4階オープンルーム
3. 評議員総数 17名
4. 出席者 6名(石井、絵所、川井、国分、古田、山影)
5. 委任状提出 8名
6. 出席者合計 14名
7. 議長 高原理事長
8. 議事

(ア) 定刻に、高原理事長が議長席に着き開会。まず、総務担当・園田理事より本日の出席者は14名(委任状による表決者を含む)にて、定足数9名以上を満たしているため、本評議員会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本評議員会の議事録署名人として、石井明氏、国分良成氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

イ) 前回(2010年5月22日)評議会議事録の確認を行った。

### 議案1 本年度西日本大会(京都大学)報告について

高原理事長より、本年京都大学で開催され全国から多数の参加者があり、盛況に終了したことが報告された。

### 議案2 本年度全国大会(東京大学)実施状況について

谷垣理事(大会実行委員長)より、今年度の参加予定人数が200名近くに達する予定であること、特に非会員の外部参加者が多くなっているため、例年以上に資料代がかかってしまい、全体的に例年以上に費用がかかる恐れがあることなどが報告された。また竹中理事(研究企画委員会主任・東日本研究担当)より、今年度から分科会を公募することによって分科会での活動が活発になったことなどが報告された。

### 議案3 公益法人制度改革について

高橋理事(公益法人制度改革担当)、田村理事(公益法人制度改革担当)より、公認会計士に相談をしていることが報告された。2013年11月が移行期限であり、アジア政経学会として、2011年5月までに評議員、理事、監事の新たな任期や選出方法などを定めた新定款への書き換えを行い、2011年8月までに評議員44名の中から内部委員3名を選出した後、外部委員2名を委託するなどの手続きが確認された。また、今後駆け込み申請が急激に増えるなどの事態が

考えられるため、国際政治学会などとの連携を強化すべきこと、法人化のメリットをしっかりと説明するなど、総会で会員から同意を得られるための工夫をすべきことが指摘された。

議案 4 会費割引に関する規定改正について

梶谷理事（財務担当）から、従来の会員割引に関する記述・規定に曖昧なところがあったため、数度にわたる理事会での議論により、現行の規定に変更した後、混乱が生じなくなったことが報告された。

議案 5 『アジア研究』の編集状況について

大橋理事（編集担当）から、『アジア研究』第56巻第3号（2010年7月号）の編集状況について説明があり、編集が遅れている状況が報告された。また、投稿・審査状況についての報告があり、高原理事長より、今後も論文の投稿をいっそう働きかけることが提案された。

議案 6 ニュースレターの発行について

丸川理事（ニュースレター担当）より、ニュースレターNo. 3 の発送が終了したこと、また次号の記事を集める体制を整えたことが報告された。

議案 7 ホームページの更新について

澤田理事（ホームページ担当）から、ホームページの告知板の利用が増えている状況が説明された。また、大会実施に伴うフル・ペーパーのアップロードがそのままになっているケースが多く、そのためサーバへの負荷がかかっている状況があること、ホームページへの記事の掲載ルートが複雑になってしまっており、アップロードを担当している業者が混乱してしまっているため、現在、アップロードを依頼するためのフォーマットを製作中で、そのための予算が別途かかる可能性があることが報告された。

議案 8 学会誌の流通について

大橋理事（編集担当）から、巖南堂書店経営撤退に伴い従来の学会誌流通のルートを紀伊国屋書店と交渉していることが報告された。

議案 9 本年度優秀論文賞について

深川理事（学会賞担当）から、本年度の該当者がいないことが報告された。あわせて『アジア研究』の定期的発行に努め、中堅研究者を含めた選考も進めなければならないことが指摘された。

議案 10 定例研究会について

金子理事（副理事長）より、今年度になってすでに2度の定例研究会を実施していること、第3回目の定例研究会は、次回理事会が実施される12月4日に実施予定で、大会終了後、速やかに研究会での報告応募のアナウンスをすることが報告された。

議案 11 来年度の東日本大会、西日本大会、全国大会について

金子理事から、来年度の東日本大会は獨協大学が担当することとなり、日程は5月21日か5月28日で調整していることが、田村理事から西日本大会は九州大学箱崎キャンパスが担当することになり、日程は6月18日か6月25日で調整していることが、そして浅野理事から全国大会は同志社大学が担当することになり、日程は10月15・16日か10月22日・23日で調整していることが、それぞれ報告され、了承された。

議案 12 入・退会者について

園田理事（総務担当）より、入会申請者3名、再入会申請者なし、退会者4名、優待申請者7名の報告がされた。

<新入会>猿渡剛、李継偉、小田敏花

<再入会>なし

<退会>杉江弘充、安部雅人、桑島昭、渡邊憲二

<逝去>報告なし

<休会>新熊隆嘉

<優待申請>森健、森治男、岡本幸治、横山政子、本田親史、山中一郎、増山裕

次回評議員会は2011年、東日本大会が実施される獨協大学にて開催の予定。

以上

高原理事長が午後14時00分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成22年10月23日

特例財団法人アジア政経学会

議長

高原 明生



議事録署名人

石中 明



議事録署名人

(印) 分 良成

